

授業の概要

部分床義歯の構成要素を理解し、講義で修得した理論をもとに、1学年次に製作した支台装置を用いて人工歯の排列、重合、研磨を通して部分床義歯製作の技工術式および注意点を理解する。線鉤の屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）
- 参考資料：プリント配付
- 授業時間：火曜日 18：00～21：15 18：50～ 21：15
- オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 火曜日 17：00～17：45
- 成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。
- 注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。
- 授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。
- 準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。
- 準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。
- 実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、講義で学んだ知識と本教科の実習内容を結び付けながら部分床義歯についての技工工程をわかりやすく丁寧に教えていく。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1回4月2日 市川 裕美 山本 哲也 山崎 司 吉川 正則	1. 咬合床の製作 1) 基礎床の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・咬合採得を行うための咬合床の製法について理解する。 ・基礎床の目的と製法を理解する。 ・咬合堤の目的と製法を理解する。 ・残存歯および歯槽部のアンダーカットのブロックアウトについて理解する。 ・常温重合レジンを用いて、基礎床を製作する方法を修得する。
第2回4月9日 市川 裕美 他	2) 咬合堤の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯用の咬合堤の製作方法および注意点を修得する。
第3回4月16日 市川 裕美 他	2) 咬合堤の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯用の咬合堤の製作方法および注意点を修得する。
第4回4月23日 市川 裕美 他	2. 咬合採得 3. 作業模型の咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内で歯科医師が行う咬合採得の重要性を理解する。 ・口腔内で咬合採得された咬合堤を用い、上下顎の模型を咬合器に装着する術式を修得する。 ・口腔内で歯科医師が行う咬合採得を顎歯

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
		模型上で体験し、重要性を理解する。 ・顎歯模型上で咬合関係を採得した咬合堤を用い、上下の模型を咬合器に装着する術式を修得する。
第5回5月7日 市川 裕美 他	3. 作業用模型の咬合器装着	・人工歯の選択法について理解する。 ・部分床義歯における人工歯の排列法について理解する。 ・部分床義歯における咬合調整法について理解する。 ・部分床義歯における歯肉形成の目的および形成法を理解する。 ・顎歯模型上で咬合関係を採得した咬合堤を用い、上下の模型を咬合器に装着する術式を修得する。
第6回5月14日 市川 裕美 他	4. 人工歯排列	・部分床義歯における人工歯の排列法について修得する。
第7回5月21日 市川 裕美 他	4. 人工歯排列 5. 咬合調整 6. 歯肉形成	・部分床義歯における人工歯の排列法について修得する。 ・部分床義歯における咬合調整法について修得する。
第8回5月28日 市川 裕美 他	7. 蝟義歯の一次埋没	・部分床義歯における人工歯の排列法について修得する。 ・部分床義歯における歯肉形成の目的および形成法を修得する。
第9回6月4日 市川 裕美 他	8. 蝟義歯の二次埋没 9. 蝟義歯の流蝟 10. レジン填入・重合	・蝟義歯のフラスコ埋没について、方法および注意点を理解する。 ・蝟義歯の流蝟法、レジンの填入法および重合法について理解する。 部分床義歯における歯肉形成の目的および形成法を修得する。
第10回6月11日 市川 裕美 他	11. 義歯の取り出し 12. 義歯床の研磨	・フラスコからの重合した義歯の取り出し法について理解する。 ・義歯の研磨法について理解する。 ・フラスコからの重合した義歯の取り出し法と注意点を修得する。 ・義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得する。
第11回6月18日 市川 裕美 他	12. 義歯床の研磨	・義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得する。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第12回6月25日 市川 裕美 他	13. 義歯床の研磨 完成義歯の提出	<ul style="list-style-type: none"> • 義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得する。 • 完成義歯を提出し、評価を受ける。
第13回7月2日 市川 裕美 他	14. 作業用模型製作 (設計用模型, 作業用 模型製作)	<ul style="list-style-type: none"> • 作業用模型の設計線を屈曲用模型に正確に描写する操作を理解する。 • 線屈曲の基本および2線法の屈曲方法を理解する。 • 作業用模型におけるブロックアウト・リリースについて技工操作を修得する。 • 副印象から屈曲用模型の製作法を修得する。 • 作業用模型の設計線を屈曲用模型に正確に描写する操作を修得する。 • 2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。
第14回7月9日 市川 裕美 他	15. 線鉤およびリング ルバーの製作 1) サベイング, 設 計, 設計線描写	<ul style="list-style-type: none"> • 線鉤および屈曲リングルバーの製作工程を理解する。 • サベヤーを使用し、義歯の着脱方向の決定、支台歯および顎堤のアンダーカットの計測を行い、支台装置と連結装置の設計の基本を理解する。 • 支台歯および顎堤のブロックアウトとリリースについて理解する。 • 作業模型の製作法について理解する。 • 予測サベイングを行い、義歯の着脱方向を決定し、必要なサベイング操作を修得する。 • 線鉤およびリングルバーの目的および働きを理解し、設計の注意点を修得する。
第15回7月16日 市川 裕美 他	15. 線鉤およびリング ルバーの製作 1) 2腕鉤屈曲 (1) 無鑑付け法屈曲 (2) 2線法屈曲	<ul style="list-style-type: none"> • 二腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。
第16回7月23日 市川 裕美 他	15. 線鉤およびリング ルバーの製作 1) 2腕鉤屈曲 (1) 無鑑付け法屈曲 (2) 2線法屈曲	<ul style="list-style-type: none"> • 二腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第17回7月30日 市川 裕美 他	15. 線鉤およびリング ルバーの製作 1) 2腕鉤屈曲 (1) 無鑑付け法屈曲 (2) 2線法屈曲	<ul style="list-style-type: none"> • 二腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。
第18回8月20日 市川 裕美 他	15. 線鉤およびリング ルバーの製作 1) 2腕鉤屈曲 (1) 無鑑付け法屈曲 (2) 2線法屈曲	<ul style="list-style-type: none"> • 二腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。